

いばらき柔道整復師会ニュース



平成31年

3/29(金)

Vol.64

特別公開講座 「オリンピックメダリストの柔道教室」を開催

平成30年12月8日(土)午後3時より茨城県武道館柔道場において、公益社団法人茨城県柔道整復師会(竹藤敏夫会長)主催、茨城県教育委員会、公益財団法人茨城県体育協会、茨城県柔道連盟後援による、「オリンピックメダリストの柔道教室～夢・目標に向かって行動を!そして考えながら努力を!～」に関する特別公開講座を、講師に2004年アテネオリンピック100kg超級金メダリスト 国土舘大学 体育学部 武道学科 准教授 並びに同大学柔道部監督の鈴木桂治先生をお迎えして、柔道を学ぶ少年少女たちが、明るく逞しく健やかに成長するため、柔道の基本技能を正しく習得していただき、併せて競技力の向上を図り、心身ともに健康な小学生の育成に寄与することを目的とし、小学校4・5・6年生の参加者とその所属柔道場の関係者、保護者の方合わせて150人以上が熱心に聴講していました。

【主催者を代表して、竹藤会長あいさつ】

竹藤会長は、「地元、茨城県が誇る柔道家の鈴木桂治先生をお招きして、柔道の基本や実戦での戦い方など、実技を交えてご指導いただくこととなっております。大外刈りなどの足技を得意とし、県内外の重量級を制覇、2004年アテネオリンピックでは100kg超級で金メダルを獲得するなど、素晴らしい成績を残され、正しく柔道界を背負ってきた方であります。よって、これまでの経験を交えた講義及び実技をしていただければと期待しているところであります。皆様にとりまして有意義な講座となりますことをご祈念申し上げます。」とあいさつしました。

【夢・目標に向かって行動を!そして考えながら努力を!】

続いて第1部の講演で鈴木先生は、「技を掛けると

きにどうすれば相手を倒すことが出来るかよく考えてください。」と、日頃の練習への取り組み方や、技のかけ方などを細かな説明と実技を交えながら丁寧に指導をしていただきました。

【鈴木先生との乱取り稽古は貴重な体験】

第2部は、勝運ふれあい教室として、優勢賞、技あり賞、一本賞を用意して行いました。それぞれの賞の内容については、優勢賞(20名)は、選ばれた子供たちが身長順に組を作り互いに得意技を掛け合ってもらい、鈴木先生からワンポイントアドバイスをいただけるというもので、技あり賞(10名)は、1人1分間、鈴木先生と乱取りをしていただけるというものです。また一本賞(5名)は、鈴木先生のサイン色紙をいただけるというものです。それぞれの賞の抽選方法は、参加者が持参した参加券を箱の中から鈴木先生に引いていただき当選者を選ぶ方法で行いました。優勢賞に当選した子供たちは、お互いに技を掛け合い、鈴木先生からこうすればもっと上手く技が掛かるなどと、一人ひとりに丁寧な指導がありました。技あり賞に当選した子供たちは、鈴木先生と乱取り稽古をして貴重な経験をしました。一本賞に当選した子供たちは、鈴木先生から個人の名前入りのサイン色紙をいただき、一生の宝物となったことと思います。

質疑応答では、子供たちから多くの質問があり、鈴木先生が子供たちに丁寧に説明している姿から先生の心の優しさが伝わりました。

最後に鈴木先生との写真撮影があり、子供たちはみんな充実したとてもいい笑顔で写真に写っていました。また、保護者の方々からは「またこのような公開講座を行ってほしい。」などのうれしい言葉をいただくなど、盛況のうちに閉会いたしました。

(広報部長 黒澤玄)



鈴木桂治先生を囲み参加者全員で記念撮影

柔道整復師会奉仕団 基礎研修会を開催

平成30年12月16日、土浦市のワークヒル土浦において 日本赤十字社茨城県支部による柔道整復師会奉仕団基礎研修会が約30人の参加で、奉仕団員に赤十字の理解を深め、ボランティアとしての自覚を持ち意識の高揚を図り、活動をしていくのに必要な知識、技術を身につけ、赤十字活動の一層の推進を図ることを目的に開催されました。

奉仕団の荒井健吉委員長より「会員方々への研修会への積極的な参加と会の事業への協力に心より感謝申し上げます。また本日は赤十字への理解を深めてもらい、知識、技術等を身につけ、救護活動の現場や、普段の施術所での仕事に役立つ力としてください。」と開会の挨拶がありました。続いて日本赤十字社から寺門係長、落合主事を講師にお招きして研修会がスタートしました。

その内容は、赤十字概論について:どんな組織、成り立ち、国際赤十字・赤新月社連盟の設立、ジュネーブ条約の締結、赤十字7つの基本原則、日本赤十字社の歩みと主な事業。ボランティアについて:赤十字ボランティア、赤十奉仕団のイメージ、心構え、活動、組織、種類。トリアージについて:意味、目的、カテゴリー、実施者、場所、篩い分け、方法、タグの使用法など、講師の方が実際の現場でした経験を交えながらの講義となりました。トリアージの篩い分けでは、災害を受けてけがをした人の絵を使って、傷病者の緊急性・重症度に応じた4区分のカテゴリー分類の練習問題に会員がそれぞれ答えていきました。

健康生活支援講習短期「災害時高齢者生活支援」では、小冊子を使い災害が高齢者に及ぼすところへの影響、からだへの影響、それぞれへの特徴的な反応、それを心得た上での接し方。避難所での衛生面、



日本赤十字社から寺門係長、落合主事を講師に招いて開かれた研修会



毛布でのガウン作りの実技指導を受ける

病気、運動不足、レクリエーションなどについて学びました。それから新聞紙でのスリッパ作り、毛布でのガウン作り、風呂敷でのリュックサック作りの実技指導を受けました。変な形になったわずかな人を除き皆大変良くでき、楽しんでいただいていると思います。

最後に会員が3班に分かれて、特殊奉仕団として、どんな活動ができて何が必要で今後どのように取り組んでいくかなどについて意見を出し合い班でまとめたものを発表しました。ボランティアの経験がある会員も多く、その中からたくさんの良く考えられた意見が活発に出ました。「各自で準備できるものはしておく。地域を考えたグループを作る。連絡網の整備。運動器外傷の取り扱いでは医師は絶対的に人手不足になる。そこで看護師と我々が協力することによってできることがかなりある。個人の技能の向上にも日々取り組んでいこう。」など、ここに挙げた以外にも多くの意見がありましたが、どの班からでも「ボランティア活動のとりえ方、意識の持ち方で社会に貢献できる量は変わってくる。」との共通した意見が出ました。それから奉仕活動の紹介があり、本日の研修会は実り多いものとなり終了となりました。

(広報委員 桜井亮)

「広域災害での自主防災について」 県南支部講演会

県南支部講演会が平成30年11月3日、つくば市のカスミつくばセンターで開催されました。

最初に、県南支部長谷中照男先生が、「近年日本の中だけでも異常気象による豪雨、自然災害発生ニュースを耳にする事が増えています。この講演を通して、より正しい知識と理解を深め、自身を守り家族を守り、周りの人を助けられる力となるようしっかりと学んでいきましょう。」との挨拶がありました。

続いて、茨城県防災・危機管理部 防災・危機管理課地域防災力向上推進員の森田孝氏の講演では、今後起こるであろう自然災害に備えるべく災害時の対応や地域防災へ組織として自助、共助の観点について話していただきました。熊本、福島、宮城、などの現場での経験を交えて、①地震から身を守る、②洪水から、③津波から④土砂災害から⑤竜巻から身を守る。6項目からの備えといった内容について



カスミつくばセンターで開催された県南支部講演会

の説明がありました。「皆さんの家に必ず配布されている、防災マップ・ハザードマップを見て避難場所、経路の確認をしてください。自助・自分の身は自分で守るが基本です、そのうえで皆さんには地域のリーダーとして一つでも多くの自主防災組織の結成に協力をしてください。」と訴えました。

「保険についての質疑応答」 回答者:谷中照男保険部長

国保・広域連合でも調査が行われるようになります。審査対象の強化、呼び出し指導も行なわれます。看板の表示等も確認をしてください。これからさらに施術録の書き込み管理が重要になります。毎月送られる保険部だよりも目を通してください。どんなことでも、なんでも、疑問、不安などは遠慮無く会に連絡してください。これからもより一層正確で疑義を持たれない保険の請求をしていきましょう。

(広報委員 桜井亮)

第38回つくばマラソン大会に 救護員として参加

平成30年11月25日、第38回つくばマラソン大会に今年で6年目となる救護員として、鮎川秋雄、吉原貴範、内館秋男、永田喜久雄、田中広一、飯塚丈仁、根本隆司、大久保博之、山崎久史、桜井亮の10名で参加しました。

早朝より準備に当たり昨年と同じ28.5km地点で今年も市のスポーツ推進ボランティア委員の方と協力しながら416人のランナーに救護活動をしました。ボランティアの方には受付をお願いし、テントの中にプライバシーを確保できる所を含む5つの治療台を設置し、芝草の上に5m四方のブルーシートを敷いて、椅子25脚を用意し3ヵ所に分かれて連携を取りながら救護にあたりました。主な手当の内容として転倒による捻挫、膝、腰、股関節等の痛み、筋肉疲労による張り痛み、痙攣、マメを潰した、靴擦れ、などがあり、包帯、エラスチックテープによる固定・キネシオロジーテープ等によるテーピング・手技療法、ストレッチ・アイシング、体温が下がってしまった人の保温、棄権者の搬送等の処置をしました。

主催者方よりテント、テーブル、椅子、ストーブ、毛布などを用意していただき、11時には早めの



鮎川秋雄、吉原貴範、内館秋男、永田喜久雄、田中広一、飯塚丈仁、根本隆司、大久保博之、山崎久史、桜井亮の会員10名が参加

昼食を済ませて救護の態勢を整えました。11時30分位から手当を求めるランナーが続々と増え、午後2時位までみんな休み無く動きまわりランナー一人ひとりに心を込めて全力で施術をさせていただきました。昨年の経験を活かしランナーの引き込み口、受付場所、人員の配置役割分担など、適切にかなり効率良くできたと思います。治療台、テーピングテープ類、アイシングスプレー、ハサミ、毛布、の数など充分だったと思いますが、最も救護を求める人が増える場面では待ち時間が長くなり手当てを受けずに走りだす人もいました。来年は、もう少し救護員の人数が多いといいなと思いました。

先頭集団の招待選手の走りに見とれ感動したり、猫ひろしさんの真摯な走りっぷりに皆で声をかけたり、手当を受けた人が折り返してきて手を振ってくれたり、自分たちの活動が役立ち快く受け入れられたのかなと思える嬉しさと楽しさを実感できた一日でした。

(広報委員 桜井亮)

第67回勝田全国マラソンの救護に 水戸支部会員10名が参加

1月27日(日)第67回勝田全国マラソンが開催されました。当日はやや風があるものの絶好のマラソン日和の中、全国から参加の1万5千人のランナーがひたちなか市内のコースを快走しました。今回も水戸支部より柏貴、嶋崎英恭、中川文夫、荘司智也、藁谷和彦、久保田浩将、新井俊行、早川好機、中川翔太、岩本勝久の10名が参加し、23.5km地点の稲田郵便局と31km地点の西原公園に分かれて救護活動を行いました。

前日の天気予報の通りコンディションが良好であったためか、31km地点では12時過ぎに先頭が通過し、例年であれば30分後くらいからランナーが入ってくることが多いが、今年は13時を過ぎてもほとんどのランナーが通過し、ランナーは好ペースであったが我々の救護所はスロースタートとなった。それでも14時頃から30km関門が閉じる15時過ぎまでは途切れることなく5名がフル稼働して選手のリスタートをサポートしました。救護活動に参加された皆様、大変ご苦労様でした。

(広報委員 岩本勝久)



柏貴、嶋崎英恭、中川文夫、荘司智也、藁谷和彦、久保田浩将、新井俊行、早川好機、中川翔太、岩本勝久の会員10名が参加

水戸支部保険講習会を開催



藁谷和彦保険副部長を講師に迎え開かれた
「水戸支部保険講習会」

水戸支部 高田 敬

1月19日(土)茨城県柔道整復師会館にて、「水戸支部保険講習会」が開催されました。

講師は、藁谷和彦保険副部長、参加人数は51名で、近年の水戸支部の行事では最多の参加人数でした。

藤田支部長の挨拶から始まり、続いて講師の藁谷保険副部長からは、日々厳しさを増す柔道整復業界における健康保険の取り扱いを中心に、新しい情報や適正な請求の考え方などを、多くの資料を基に具体的な内容を詳しく解説してくださいました。

また、日ごろ保険部が行政側とどのような折衝を行っているか、新たな取り組みは何かなどの、会員のこれからの方向性についての説明がありました。

また、その後の質疑応答では活発な議論が繰り広げられ、あっという間の1時間30分でした。

今後も継続して、このような有意義な講習会を開催することにより、会員の質の向上につながると思いました。

藁谷保険副部長をはじめとする保険部の先生方、このような講習会を開催していただき、ありがとうございました。

水戸支部 超音波エコー勉強会を開催

水戸支部 櫻井雅明

2月15日(土)茨城県柔道整復師会館で、水戸支部行事の第2回超音波の勉強会が開催され出席してきました。

今回の勉強会は、株式会社エス・エス・ビー様のご協力をいただきまして、水戸支部約20名の会員が参加しました。

第2回は上肢の肩・肘等という事でしたので、野球の投球障害調査でも活躍されている水戸支部会員の岩本勝久先生が講師を担当され、エコー検査の基

本操作の方法やプローブの当て方などから始まり、骨・筋肉・腱や滑液包などの抽出の仕方やコツをスライドの説明を見てひと通り勉強しました。

参加した会員は熱心に耳を傾けメモを取るなどしていました。

スライドでの勉強を終えてから、岩本先生の実技指導が始まると、会員の皆さんはプローブの当て方や筋肉の抽出方法を食い入るように見ながらとても熱心に勉強されていました。

その後、いざ実践練習に入ると抽出がなかなか難しい上腕二頭筋の長頭腱や肩峰下滑液包などプローブの当て方のちょっとしたズレで上手に映し出せないなどなど、とても苦戦していました。

今回の超音波エコー勉強会で学んだ事は、患者さんへの症状や説明そして治療方針の科学的根拠に役立てたいと思いました。

また次回、超音波エコー勉強会が開催されましたら積極的に参加して会員の皆さんと一緒にスキルアップしていこうと思いました。



岩本勝久先生(左)が講師となって開かれた
超音波エコー勉強会

第3回野球肘を語る会を開催

1月19日(土)水戸赤十字病院にて第3回野球肘を語る会が開催されました。今回も座長である水戸赤十字病院副院長の上牧裕先生を中心に水戸赤十字病院、水戸協同病院、筑波大学の医師、理学療法士、トレーナー、柔道整復師が参加し一年間の活動報告と意見交換が行われました。

理学療法士からは高校野球のメディカルチェックの結果報告が、医師からは肘関節内側側副靱帯(AOL)評価の検討方法についてと今後の活動予定報告がありました。

我々柔道整復師からは投球傷害調査班の柴嵩将志会員が中学野球競技者の野球肘調査の結果を報告しました。調査結果からの分類では医師らから非常に興味深く有用なデータであると好評をいただきました。
(広報委員 岩本勝久)

会員になって思う!

県南支部 君崎孝弘

昨年2月に入会させていただきました、かすみがうら市「みなみ接骨院」の君崎孝弘と申します。入会の際には竹藤敏夫会長はじめ、市川善章名誉会長、谷中照男県南支部長、莊司智也介護部長、そして会員の皆様にご指導いただきましたことをこの場をお借りして感謝を申し上げます。公益社団法人茨城県柔道整復師会は、学会や講演会、地域のボランティア活動があり、その際、諸先生方と交流を深められる事を大変有り難く心強く思っております。今後とも地域に貢献できるよう努力して参りますので、ご指導の程よろしく願いいたします。



救護員派遣の近況

11月25日(日)
第38回つくばマラソン

イエローハットつくば研究学園店横(28km地点)

鮎川秋雄、吉原真範、飯塚丈仁、内館秋男、桜井亮、田中広一、永田喜久雄、山崎久史、根本隆司、大久保博之(県南支部)

416名のランナーにテーピング、ストレッチ、アイシング等の処置をしました。

1月20日(日)
茨城県柔道選手権大会

茨城県武道館柔道場

横山茂樹 佐間田仁(水戸支部)

3名の選手にテーピング等の処置をしました。

2月10日(日)
茨城県柔道段別選手権大会・茨城県柔道高段者大会

茨城県武道館柔道場

杉本秋生、綿引徹(水戸支部)

左肘関節脱臼の選手に応急処置を施し水戸協同病院を紹介しました。

その他、2名の選手にテーピング等の処置をしました。

1月27日(日)
第67回勝田全国マラソン

ひたちなか市稲田郵便局

藁谷和彦、柏貴、嶋崎英恭、中川文夫、中川翔太(水戸支部)

212名のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ等の処置をしました。

ひたちなか市西原公園

岩本勝久、莊司智也、久保田浩将、新井俊行、早川好機(水戸支部)

263名のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ等の処置をしました。

2月24日(日)
第6回関東近県女子バスケットボール交流大会

笠松運動公園体育館

高田敬、後藤洋彰(水戸支部)

6名の選手にテーピング、ストレッチ等の処置をしました。

編集後記

今回2度目の編集後記を書かせていただきました。改めて己の文章作成能力の乏しさに感動しています。書き始めて4日まだ終わらず・・・勉強することが不得意な自分、いつも上手に休ませてくれる自分、あんまり可愛くて思いつき首を絞めてやりたい衝動にかられる今日この頃でした。そんな私ですが、毎年楽しみにしているつくばマラソンのボランティア、日本赤十字社茨城県支部柔道整復師会奉仕団の基礎研修会、本会県南支部の講習会に参加させていただきました。そこで、今日はいいい勉強をしたな!有意義だったな!と、自分を褒めるほどではないがよくやったぞ!と思わせてもらいました。県南支部講習



(広報委員 古内裕人)

ミッキー

メスうさぎの6歳

ゴン太

オス猫の推定4歳

我が家の家族、メスうさぎのミッキーとオス猫のゴン太を紹介します。

うさぎのミッキーは6年程前にペットショップで売られていたミニウサギで同じ顔の子ウサギたちの中から選ばれ連れられちゃいました。

猫のゴン太は3ヶ月前、とても寒い冬の夜に家の車の下で震えて鳴いているところを保護した保護猫で推定4歳くらいでしょうか、ふたりは性格がどちらも穏やかなせもあるのか出会ったときからとても仲良しです。ミッキーをゲージから出したときはだいたい二人ともくっついてお昼寝タイムとなります。

患者さんにも可愛がられて家族で毎日とても癒されています、末永く共に過ごせたらと思っています。

■新入会員■



県南支部 友野 慎也

マツモト接骨院

稲敷郡河内町生板8898-2

☎ 0297-84-2897



県西支部 相澤 洋平

一本松整骨院

筑西市一本松1537-2

☎ 0296-45-6311

《訃報》

高巢 文子(たかす ふみこ)

県南支部 高巢 定夫 会員の母

12月6日死去 89歳

柳橋 文(やなぎばし あや)

水戸支部 新井 佳代子 会員の母

1月29日死去 101歳

御所野 英宣(ごしょの ひでのり)

水戸支部会員 3月13日死去 77歳

会での保険部長からの保険者と信頼関係の構築の話しや、日本赤十字社茨城県支部柔道整復師会奉仕団の基礎研修会での団長の参加者への謝意、また、つくばマラソンの救護ボランティアでの本会県南支部つくば地区長の段取りなど、当日参加者が楽しくできるようにしてくれた気遣いは、どれも公益社団法人としての立場への理解、日頃の業務、様々な活動への取り組み方を真摯に考える機会となりました。これからもこのような機会を大事にして更により多くの会員の方々の参加を夢見、今以上に元気で信頼されるチーム「公益社団法人茨城県柔道整復師会」としての成長と躍進を確信し、私の編集後記とさせていただきます。(広報委員 桜井亮)

茨整発**【県民健康講座】****心の栄養になるお話**

毎月第一木曜日(午後5:15~生放送)茨城放送(ラジオ) ミツコdeリラックスのホットボイスのコーナーに「足元からの健康法」と「心の栄養になるお話」で出演させていただいております。

今日のお話は「身近な人の話を素直に聞けますか?」というお話をさせていただきます。

私は完璧で間違ったことは絶対しません!絶対言いません!という人っているのでしょうか?中にはそう思っている人もいるかもしれませんね。

私は間違ったこともするし、間違ったことも言っていると思っています。

そして、完璧な人なんていないと思っています!

そう思っているにもかかわらず耳に痛いことを言われた時に、素直に聞けませんよね。

また、「なんでそんな事を言うんだろう」「私はそう思わないのにな」と思うってしまうことも多いと思います。

自分はこうしたいと思った時に、相手は違う思いだった時に相手の言うことを素直に聞けますか?自分の思いを通そうとしませんか?聞けない時や、自分の思いを通そうとするのは「我が儘」「自分勝手」かもしれませんね。

聞き入れがたい言葉の裏側に、大切な事が隠れていることが多いものです。

でもそれを聞いていくことが人生においてプラスになって、とても大切なことなんです。

自分の考えと同じことを言われた時は、何も考えずに素直に受け入れられます。

それだけで自分の考え方の幅が広がりますね、自分とは違うところを他の人は持っていて、他の人とは違うところを自分は持っているんです。

ですから多くの人の話を聞くことで知識や人間としての幅が広がるんですね。

今年の干支はイノシシです、「豕を抱いて臭気を忘れる」(いのこをだいてくさきをわすれる)、イノシシは臭いものだけれどもイノシシをかかえている本人にはその臭さが解らないということから「自分の欠点や醜さは自分ではなかなか気付けないもの」という意味です。奥さんだったり、御主人だったり、親だったり、友人だったり「身近な人」が気付いてくれて言ってくれることを素直に聞いて受け入れることが大切です。

素直に聞いて信じて実行してみると自分が思っていた以上の良い結果になるものです。

時には患者さんの言われる言葉の中に、施術に関



茨城放送(ラジオ) ミツコdeリラックスの
ホットボイスに出演中

するヒントが隠れている場合もあります。患者さんの言葉を聞きのがさないように大切にして施術にあたりたいものです。

身近な人の話を素直に聞いて、すべての人に感謝して施術にあたれると良いですね。

(広報委員 磯島昌彦)

足元からの健康法

平成30年10月17日、群馬県前橋市にある「ファミリーブティック私の部屋」さんの第43回ときめき塾に「足元からの健康～浮き指ってなに～」の講演としてお話をさせていただきました。

歯科医院の先生やスタッフの皆さん、健康に興味のある方々が多数参加されての楽しい講演会になりました。

最近では、歯科医院に来院される子供さんに噛み合わせの悪い方が多いそうです。そして子供さんの姿勢が悪く、その原因に足元が関係しているのではないかと、私の講演を聞きに来られ専門的な質問もされました。

また、噛み合わせが悪くなることで腰の痛みや首や肩の筋肉の緊張に繋がっている方も多いそうです。

姿勢などの身体のことばは柔道整復師の得意分野でもあり、これからは歯科医師の先生方と連携をしていくことで、子供さんの姿勢、噛み合わせが原因による腰の痛みや首肩の痛みにも対応していけるのではないのでしょうか。

また地域への貢献として、2月23日に約2時間中学校のサッカー部の生徒さんに「足元からの健康法」として足元を安定させることの大切さのお話をさせていただいて、足元のケアと痛み等の症状のある生徒さんには実際に施術させていただきました。

今回は16名の生徒さんと先生2名の足を診させていただいたところ、全員足指が変形し足元が不安定な状態になっていました。

これからも、地域の子供さんの健康増進、ケガの予防のために先生方と協力して取り組んで行きたいと思います。

(広報委員 磯島昌彦)

みらいのカタチ

だい杖ぶ

特定重度疾病保障保険

“大切な人を想う”のいちばん近くで。 日本生命

OA リサイクル

オフィス家具・複合機

中古品で経費削減、業務用で効率アップ!!

コピー・オフィス家具・ビジネスホン
パソコン・ネットワーク・電話工事
おまかせください!

ショールーム 駐車場完備

OAリサイクル 検索

ただいま組合員様特別価格で ご提供中

つくば店 029-828-7815 水戸店 029-306-7033

保険の見直しをしてみませんか?
あなたに『ベストな保険』の
お手伝いをいたします!

三井住友海上火災保険 ハイグレードエージェント 日本興亜損害保険 特級代理店
三井住友海上あいおい生命 プレミアムパートナーズクラブ NKS Jひまわり生命保険

サンツクバ 株式会社

お問い合わせは **TEL.029-841-5858**

サンツクバ 検索 詳しくはホームページをご覧ください。
土浦市中村南 1-2-23 URL <http://www.suntsukuba.com>

物理療法機器、介護福祉具
健康機器販売

関東医療商事

〒319-2221 茨城県常陸大宮市八田 1127-5
TEL 0295-53-4211 FAX 0295-53-3383

おかげさまで**46周年**

塚本工業株式会社

ギフトセンターツカモト

茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2880-2

TEL 029-834-2560 FAX 029-834-2563

～旅のおともに～

日本交通株式会社

茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2880-1

TEL 029-843-3380 FAX 029-843-3380

セキスイハイムが家づくりをサポートします。

茨城柔道整復師会会員の皆様に

お得な3つの特典!

特典1 新築工事 請負契約
建物本体価格の **3%割引**

特典2 リフォーム工事 請負契約
50万円以上の 請負に限り、請負価格の **3%割引**

特典3 左記以外の その他の契約
その都度協議の上 **特典を決定**

お問合せ・資料請求・ご相談・展示場へのご来場予約は
0120-013-816 または 茨城セキスイハイム 検索

茨城セキスイハイム株式会社
〒310-0804 茨城県水戸市白梅 1-7-11

#老後を変える



あなたが老後を心から愉しめるように。
健やかで充実した日々に寄り添い、今日から変えてゆく。



MetLife
メットライフ生命

〒310-0011 水戸市三の丸 1-4-73 水戸三井ビル 5F
水戸エイジェンシーオフィス
担当：高塚、木村、金子
TEL: 029-226-6271 FAX: 029-228-2459

すべての人にとっての老後を考え、
豊かで楽しい人生に変えてゆく情報サイト

団体保険は接骨院経営者の基礎となる保険です！

柔道整復師 総合補償制度

総合保険コンサルタント・賛助会員
アームリンク株式会社

代表取締役 小林 和義
TEL 027-255-3233
URL <http://armlink.org>



TRIO

信頼のネットワーク
地域密着
Door to Door

トリオ医科 株式会社

〒300-1216 茨城県牛久市神谷 6-6-1
TEL 029 (873) 8553 FAX 029 (873) 8796
東京(営) 大田区・北関東(営) 館林

シアワセを記憶する、ホテル



伊勢屋グループ

水戸プラザホテル Tel.029-305-8111(代表)

〒310-0851 茨城県水戸市千波町 2078-1 <http://www.mito-plaza.jp/>

茨城県柔道整復師会会員の皆様へお知らせ

ご自宅や施術院等の新築・リフォームをお考えの皆様には2つの特典をご用意。

特典 01

**新築工事
請負契約**

建物本体価格の

3%OFF

特典 02

**リフォーム工事
請負契約**

50万円以上の請負
に限り請負価格の

3%OFF

**住まいづくり
応援キャンペーン**
ただいま実施しております
詳しくは担当まで

暮らし継がれる家

三井ホーム 茨城中央ホーム株式会社
開発営業室 担当/津賀

〒310-0801 水戸市桜川1-1-25
大同生命水戸ビル5階
<http://www.mitsuihome-ibaraki.com/>

ご自宅・施術院・リフォーム工事のお問い合わせはコチラ

0120-26-4331
受付/水曜を除く AM9:00~PM6:00

導入実績10,000件以上！接骨院・整骨院専用のレセコンなら

三四郎くん

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートで
ご好評を頂いている「三四郎くん」は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

オプションで
さらに便利！

保険証リーダー

サーマルプリンタ

バーコードシステム

**他社からのデータ移動も
お任せ下さい！**

株式会社 エス・エス・ビー

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

HP <https://www.sanshiro-net.co.jp/home/>

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
▶▶ <http://www.jusei-news.com/>

※一部ご希望に添えない場合があります。